

# 生き生きとした職場闘争を構築しよう



83. 6. 23

No. 1372

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七二〇七

## 組織部長会議で決定された当面の取り組み

動労千葉は六月十八日に「一九八三年度動労千葉組織部長会議」を開催し、とりまく情勢の意志統一をはかるとともに、当面する取り組みを決定しました。

とりわけ8・8パイプライン供用開始を頂点とした二期着工攻撃の強まりと、動乗勤制度改悪、59・2ダイ改、「職場規律」攻撃をもってする国鉄労働運動解体攻撃の激化は、明確に動労千葉の組織破壊を目的とした攻撃としてかけられています。

われわれは、こうした情勢をがっちりとりえかえし、政府・自民党、国鉄当局、動労「本部」革マル一体となつた攻撃をはね返す体制をつくりあげようではありませんか。

組織部長会議は当面する取り組みを次の通り決定しました。

### (1) 動乗勤制度改悪反対の闘い

国鉄当局の、「六月十日中央交渉妥結、九月地方交渉妥結、59・2ダイ改実施」という策動に対し、動労千葉は「申13号」を対置し、内達一号対策委員会を中心に団体交渉で当局を追及する中で、六月十日妥結を阻止してきました。

当面する取り組みは、①「申13号」に関する団体交渉の取り組みを強化する。②動乗勤制度改悪の狙いを明らかにした職場討議資料を作成し、職場討議を深め、全組合員の決起体制を構築する。③動労「本部」革マルの犯罪的役割を『日刊動労千葉』を通じて全国に明らかにし、全国的な闘いの組織化をはかることとします。

### (2) 「職場規律の厳正」攻撃反対の闘い

当局はカバンステッカー、ワッペン闘争に対し、執りなまでの弾圧、処分攻撃を両策しています。ワッペン、ステッカー闘争は労働者、労働組合の表現の自由と団結権のシンボルであり、合理化、国鉄労働運動破壊攻撃と対決する意志表示の闘いとして全組合員が貫徹することとします。

### (3) 8・8ジェット燃料パイプライン供用開始 粉碎の闘い

8・8パイプライン供用開始に対する抗議と、二期阻止へむけた新たな労農連帯を築くものとして、反対同盟との共催で八月八日、十時、千葉市港第一公園で抗議集会を開催します。

### 従来の枠を突破し、全組合員の活性化をかちとろう！

(4) 組織強化拡大へ向けた取り組みについて  
動労千葉は「三里塚」「反合」「中江選挙闘争」を通して、もてる組織力を十二分に発揮してきま

したが、さらに職場闘争の組織化や、動員の組織化等を再点検し生き生きとした職場闘争を再構築しようではありませんか。

- ① 支部執行委員会の月二回の定例的な開催
- ② 職場集会の月一回の定例的な開催
- ③ ①②の取り組みへの本部担当執行委員の派遣
- ④ 退職期をむかえる高年令組合員を全体で支える組織体制を確立し、全組合員が当面六〇才まで働き闘う運動を職場に定着させる。
- ⑤ 組織状況報告、組織活動報告の毎月十日までの本部報告の完全実施

### (5) 家族組合、地域班、支援基金運動のとりくみについて

家族組合の再建のための今後の取り組みは、六月二十日から七月二十日までを家族組合結成準備期間として、支部家族担当者と連絡を密にし、重点的に取り組むこととします。

全支部において、九月までに地域班を組織化するための取り組みを強化します。

動労千葉支援基金は、現在四千三百万をこえる巨額な基金カンパが寄せられています。支援基金は支援団体にまかせるのではなく、自らが支援基金を組織するものとして取り組みねばなりません。当面する取り組みは、OBを対象に全支部で組織化に努力することとします。

### お知らせ

動労千葉サークル協主催・卓球大会 の日程が決まりました。ふるって参加して下さい。

日時 七月十九日(火) 九時三十分

場所 天台スポーツセンター

試合方法 従来と同様(年令別に団体戦と個人戦)